



中期経営計画（2016～2020年度）

2016年 6月 2日
株式会社 京写

I. 旧中期経営計画（2010～2015年度）

1. 業績推移
2. 重点戦略レビュー

II. 新中期経営計画（2016～2020年度）

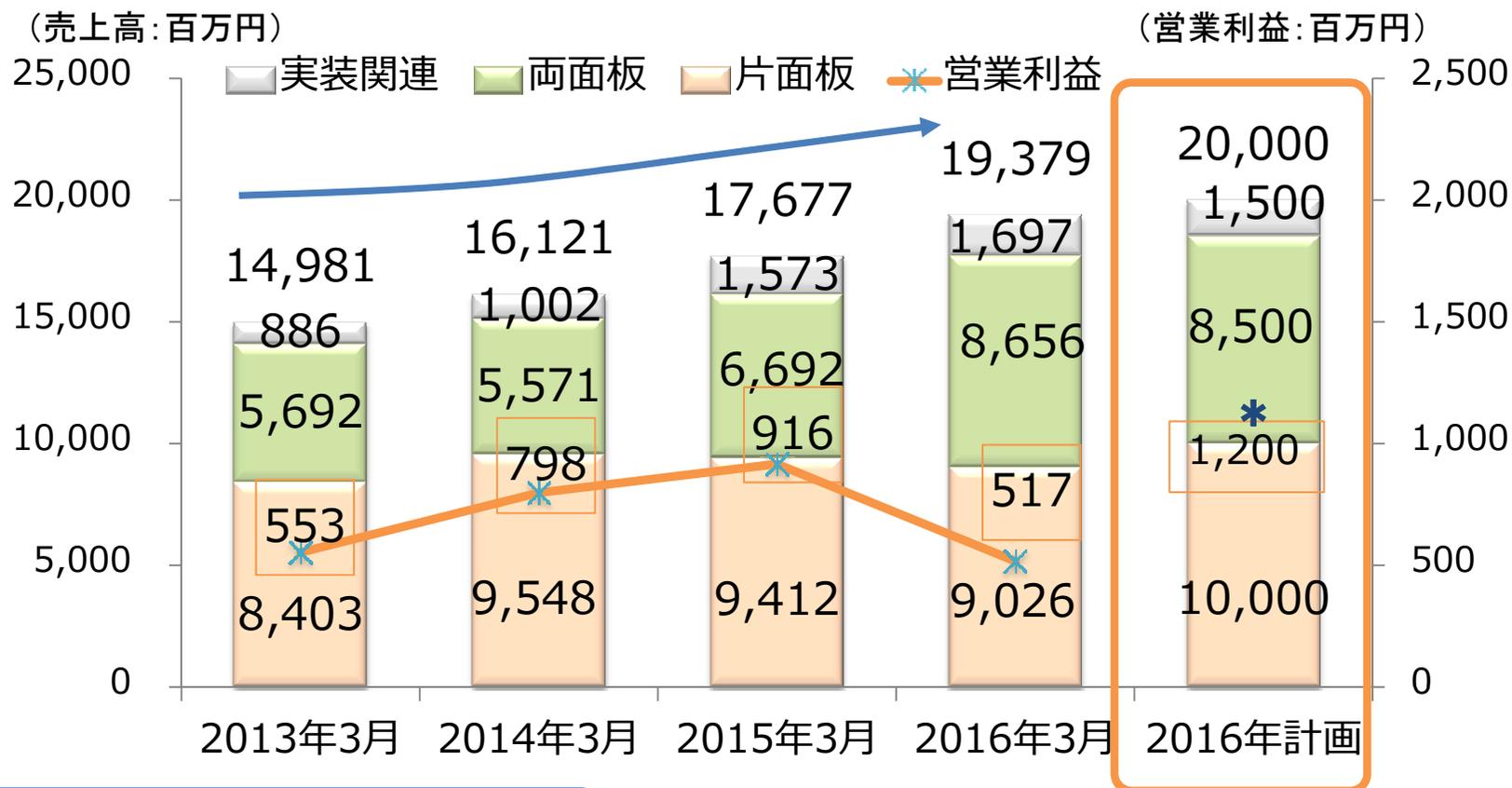
1. 中期経営計画策定の背景
2. 中期経営ビジョン・基本戦略
3. 成長戦略
 - 片面板事業
 - 両面板事業
 - 実装関連事業
 - 新規事業
4. IT・人財・管理戦略
5. 財務戦略
6. 経営目標

I. 旧中期経営計画（2010～2015年度）

1. 業績推移



連結 (百万円)	2016/3実績	計画	増減	備考
売上高	19,379	20,000	△620	中国等の景気減速により主に片面板受注減
営業利益	517	1,200	△682	受注減や円安による調達コスト等の増加により減益

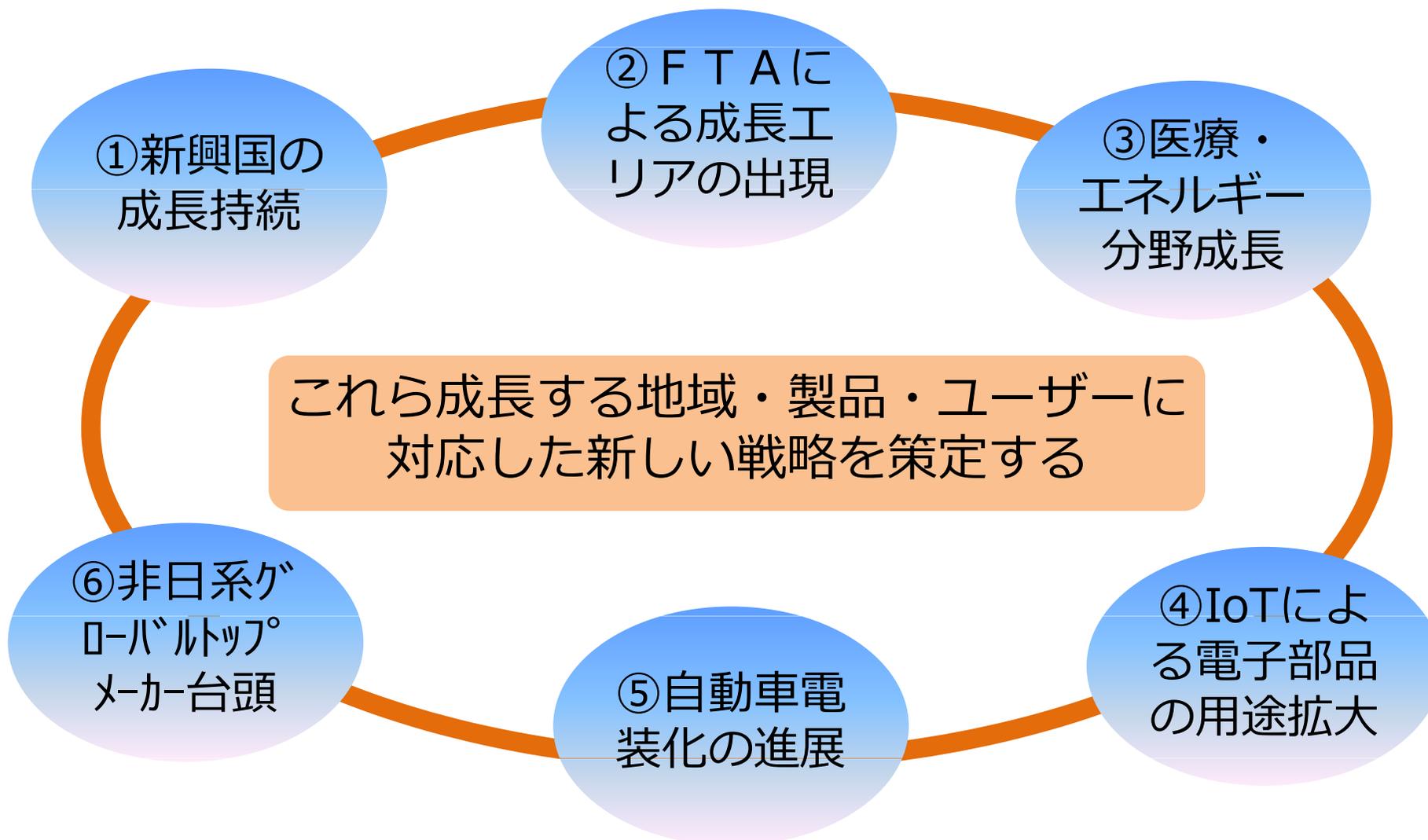


戦略	最終目標	実績	レビュー及び対応
環境対応	売上高の15% (30億円) <small>(片面両面売上に含む)</small>	22% (43億円)	・放熱基板の開発やLED照明への対応強化により <u>目標達成</u> 。
ボリュームゾーン	片面板100億円	90億円	・国内外での需要低迷の影響を受け <u>目標未達</u> 。 ■非日系向けの受注の増加
グローバル	両面板85億円	86億円	海外で自動車関連向けの販売が伸張したことで <u>目標達成</u> 。
	実装関連15億円	17億円	実装治具分野での事業拡大により <u>目標達成</u> 。
収益力強化	既存品営業利益率6.5%以上	2.7%	販売未達や最終年度の景気減速の影響により <u>目標未達</u> 。 ■価格の適正化、輸入販売品の国内生産化、非日系向け受注による各工場稼働率の改善
新規事業	第3の事業の確立	大学との共同研究	大学との共同研究を開始、事業化は <u>未達</u> 。

Ⅱ. 新中期経営計画（2016～2020年度）

1. 中期経営計画策定の背景

■新しい成長機会の出現(市場環境の変化)



2. 中期経営ビジョン・基本戦略

■ 中期経営ビジョン 「一流になる」

■ 基本戦略 「企業間連携を活用し電子回路デバイス分野において
独自技術を武器に成長分野を攻める。」

■ 成長戦略

他社の追随を許さない圧倒的な品質を
ベースに 顧客の潜在的なニーズを
掘り起こし継続的な成長を目指す

■ 人財・IT・管理戦略

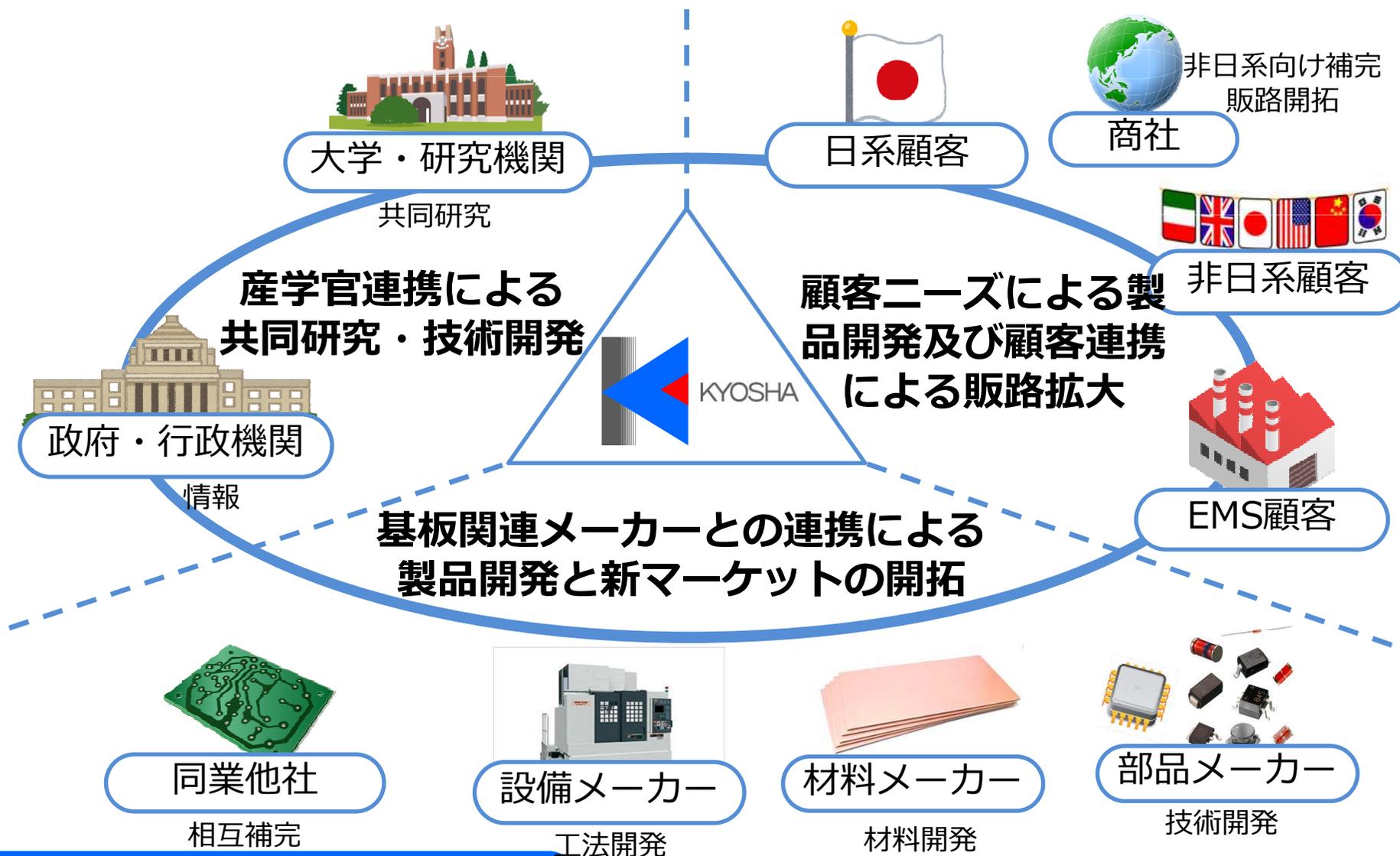
人財育成とITシステムの
活用によるグローバル
管理体制の強化

■ 財務戦略

中期の成長実現と
資金効率のバランス
を考慮した投資計画

2. 中期経営ビジョン・基本戦略（企業間連携）

■ 企業間連携により販路拡大・新マーケット開拓・技術開発を図る



3. 成長戦略 ■ 片面板事業

- 片面板戦略
 - ・ 未開拓地域及び新規顧客への拡販
 - ・ 独自技術による顧客及び成長分野の開拓

■ 売上目標 105億円

	戦 略
市 場	<ul style="list-style-type: none">・ グローバルトップメーカー（非日系）への拡販・ アジアを中心とした未開拓ボリュームゾーン地域の開拓
用 途	<ul style="list-style-type: none">・ 需要拡大する製品 (家電製品、事務機、映像関連、自動車関連)
技 術 製 造	<ul style="list-style-type: none">・ 新工法・新商品の開発

3. 成長戦略 ■ 両面板事業

■ 両面板戦略・海外での両面板拡販及び海外両面板工場の設置

■ 売上目標 145億円

	戦 略
市 場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国、東南アジア、北米への拡販 ・ 車載メーカーの新規開拓
用 途	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車関連、家電製品 ・ 新成長分野の環境、エネルギー、医療関連
技 術 製 造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新工法・新商品の開発 ・ 海外生産体制の拡充（中国、アセアン、北米の検討） ・ 国内の生産効率最大化 ・ 企業間連携による新商品の開発

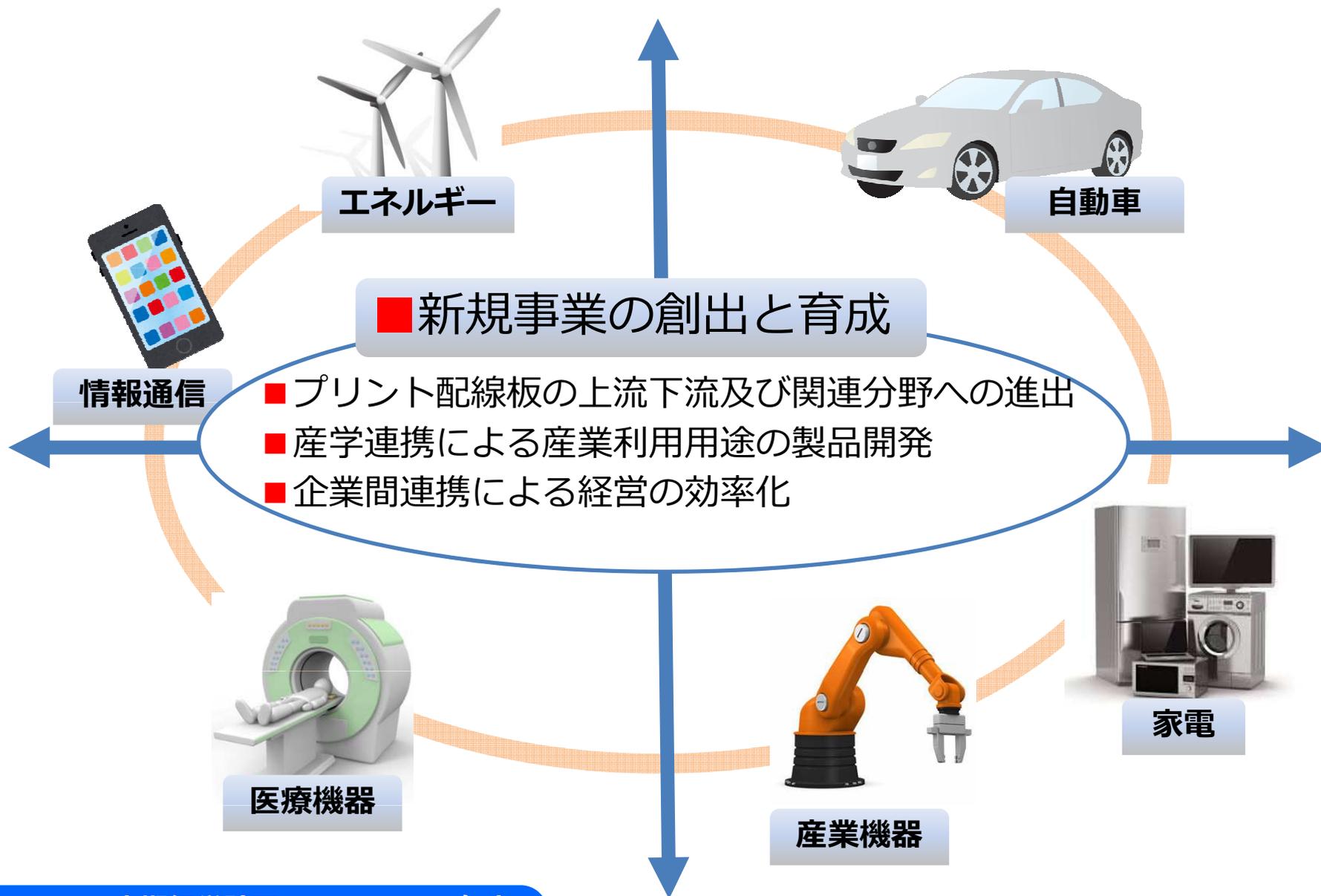
3. 成長戦略 ■ 実装関連事業

- 実装関連戦略
 - ・ (治具)国内外拡販及び新用途の開発
 - ・ (実装)国内成長分野への特化及び自動化による効率化推進

■ 売上目標 治具：20億円 実装：10億円

	戦 略	
	治具事業	実装事業
市 場	・ 海外拡販	・ 国内特化
用 途	・ 電子機器用途以外の新用途開発	・ 新成長分野の航空機、パワエシ、自動車に特化
技 術 製 造	・ 新商品開発	・ 生産自動化
	・ 設計、技術開発型企业への転換	

3. 成長戦略 ■ 新規事業



4. IT・人財・管理戦略

■ IT戦略：IT活用による効率経営の推進

項目	戦略
基幹システムの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹システムのグローバル統一化推進と機能の強化 ・ 生産工程の標準化と効率化推進
業務プロセスの改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITを効果的に活用した業務プロセス改革を推進

■ 人材・管理戦略：人材育成によるグローバル管理体制の強化

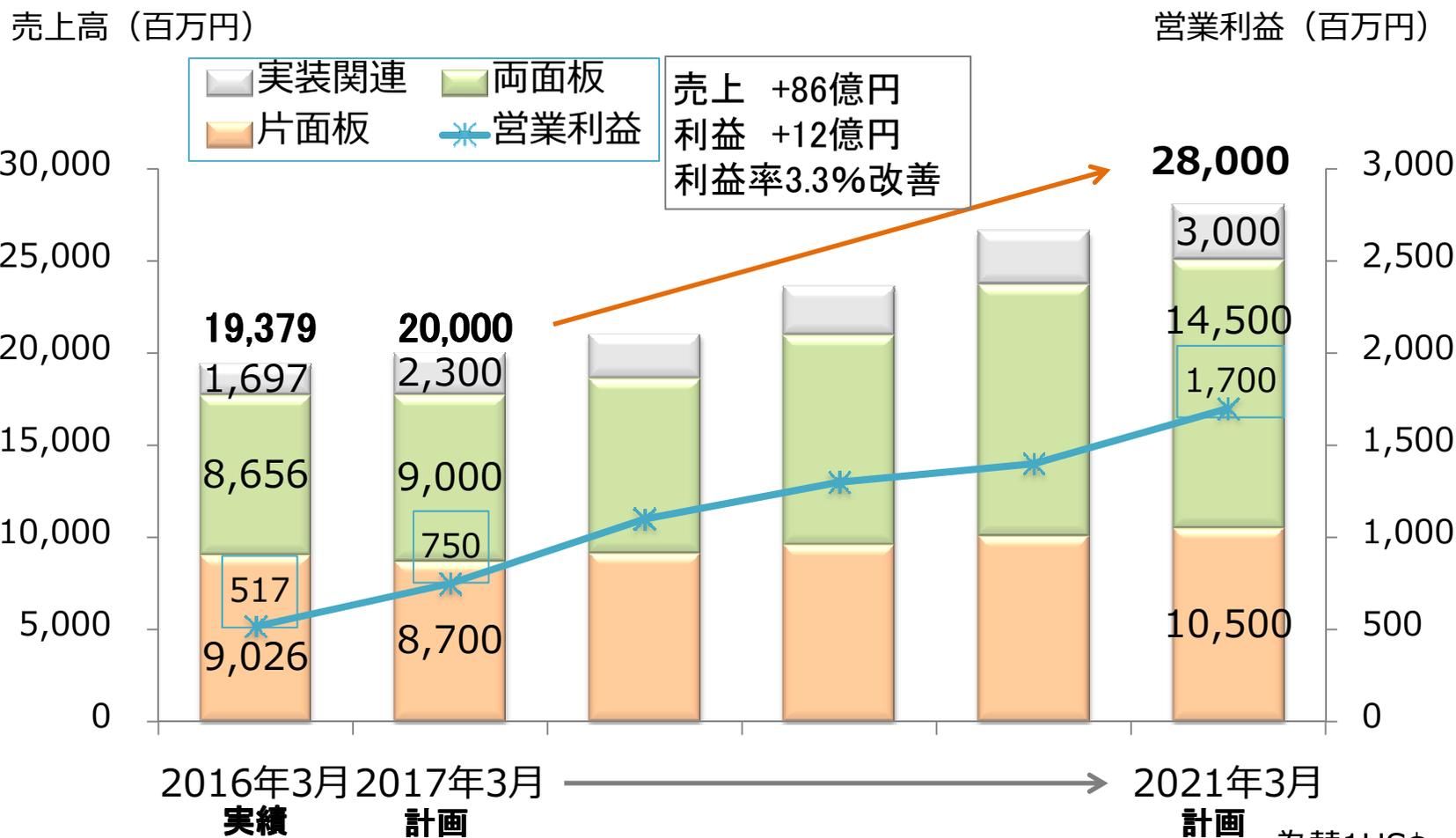
項目	戦略
組織文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自ら考え行動する」企業風土の醸成
組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルCSR経営体制の構築
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代グローバル経営人材の育成

■ 財務戦略：中期の成長実現と資金効率のバランスを考慮した資金計画実行

項目	戦略
投資・CF計画	<ul style="list-style-type: none">・ キャッシュフロー経営強化による企業価値の向上・ 持続的成長に向けた戦略投資・ 収益力強化による自己資本の一層の充実
株主還元方針	<ul style="list-style-type: none">・ 持続的かつ積極的な配当による株主還元の充実 (配当性向20%)

6. 経営目標 (2020年度)

- 経営目標
 - ・ 連結売上高 **280億円**
 - ・ 営業利益 **17億円** (利益率6.0%)



- この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。
- また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。